

## 令和3年度 さいたま市立与野八幡小学校 学校関係者評価書

さいたま市立与野八幡小学校

学校関係者評価委員長 北川 一江 印

### 1 学校関係者評価の実施体制

#### (1) 構成人数 6名

本校PTA会長 1名 前PTA会長 1名 主任児童委員 1名  
民生・児童委員 1名 児童センター館長 1名 本校後援会長 1名

#### (2) 実施回数

委員会 3回 (第1回: 令和3年7月15日(木)、第2回: 令和3年11月4日(木)  
第3回: 令和4年1月31日(月))

### 2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見等)

- ① 全体的に、肯定的な評価が90%を上回る結果である。児童は落ち着いた環境で、学習に取り組んでいると考えられる。
- ② 学校評価は、概ね肯定的な回答が多くて安心だが、少数でも「そう思わない」「思わない」という回答にも、目を向けていく必要がある。
- ③ 「あいさつ」については、よくあいさつしてくれる子が増えているが、児童が一人で歩いている時はなかなかできていないのは現状としてある。これは学校・家庭・地域で継続して指導していくしかない。
- ④ 下校の仕方で危ない場面を何度も見たが、事故がないように指導していく必要がある。
- ⑤ オンライン授業については、45分間流すのもよいが、授業内容を15分程度の映像にまとめて配信するのも、一つの案ではないか。
- ⑥ 子どもの様子を見てみると、子どもが不安を抱えているように思える時がある。これは、コロナ禍でいろいろなことがイレギュラーになり、その大変さ、不安定さが原因ではないかと感じている。
- ⑦ 一人一台タブレットパソコンの導入により、パソコンが日常の学習ツールとして活用できるようになったとのことだが、ぜひ、今後も授業の中で積極的に活用してほしい。

### 学校関係者評価を受けた学校の対応

- あいさつ強化期間や、児童会主体のあいさつ運動等を、今後も継続していく。また、家庭・地域とともに取り組む方法について一緒に考えていきたい。
- 児童への安全指導の徹底、特に下校に関する指導は、学年を問わず行っていく。
- 今後もタブレットパソコンを積極的に活用していくが、併せて市からの指導を基に教職員の研修を滞りなく行い、ICT機器の整備や管理方法の工夫・改善を進めていく。
- コロナ禍でイレギュラーなことが多くなっているが、しっかりと児童の様子を見て、不安を取り除いていく努力を今後も行っていく。

さいたま市立与野八幡小学校長 荒木 大輔 印